

小松市立荒屋小学校 学校教育ビジョン 2025

教育理念 自律：自分で考え、より良い生き方を選択する。
共生：多様性を尊重し、お互いから学び高め合う。
創造：よりよい未来のために、試行錯誤する。

学校スローガン【 子どもが主役の学校 】

< 学校教育目標 >

仲間と共によりよい社会を切り拓く資質・能力の確実な育成

めざす児童像

「じ・も・と」で育つ あらやの子

【じ】 自分で考え行動する。

- ・自分なりの考えを持つ。
- ・よく考え判断する。
- ・よいと思ったことは進んで行

【も】 もっと良くなろうとする。

- ・より良いものを目指す。
- ・粘り強く最後まであきらめずやりぬ

【と】 共に学ぶ 思いやる

- ・自分も周りの人も大切に
- ・対話し、多様な考えから学ぶ。
- ・感謝の気持ちをもつ。

< めざす資質・能力 >

- ☆ 生きて働く知識・理解(学び方の習得 見方・考え方 聴き合う力 道徳的価値 等)
- ☆ 未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力(人と関わる力・学びを活かす力・社会をつくる力 等)
- ☆ 学びを人生や社会に活かそうとする学びに向かう人間性(情報収集意欲 自主的実践的態度 参画意識等)

1. 教育活動全般を通じた 主体的な児童の育成

◇ カリキュラム・マネジメントの 確立

- 学校行事や学習活動と関連したキャリア教育の推進
- 児童会活動や特別活動の活性化による自治的自主的活動の充実
- 体験活動や探究的な学習による汎用能力の育成
- 異学年交流による協働・共生の意義・良さの実感
- コミュニケーション力・聞き合う力・対話力等の育成
- 話し合い活動を通じた主体的な意思決定や合意形成
- 指導力を持続的・継続的に高めるための研修・連携

2. 自律した学び手の育成 ～子どもに委ねる授業づくり～

◇ 個別最適な学びと協動的な学びの 一体的な充実

- 教材研究の充実(教科横断的な学習)
- つきたい力の明確化(単元デザイン)
- 学びの必然性のある問い・課題設定
- 学習形態を判断・選択し、自己調整しながら学びを進めるための工夫
- 児童の見取りと確かな支援と評価
- 多様な他者との対話を通じた考えの再構築
- 対話力・言語活用能力・表現力の向上
- ICTの効果的な活用(思考ツール)
- 振り返りによる学びの実感と次時への繋がり
- プログラミング教育の推進・充実

3. 心身ともに豊かで たくましい子の育成

◇ 生徒指導の4つの視点を生かした 温かな集団作り

- 道徳教育の充実
- 正しい生活の習慣化
- 学習規律の実行
- 活動の過程や成果を重視した指導と評価の工夫
- 安全への意識向上と指導の徹底
- 健康や感染対策に関する指導の充実
- 体力・運動能力の向上
- 学びを生活に活かそうとする意欲・学び続ける意欲
- チャレンジ意欲の育成
- 健康的なメディアの利用

安心・安全な学校・学級づくり(組織的な学校運営)

- 生徒指導の実践上の視点による学校・学級づくり
教職員全体での児童の様子の見取りと支援
(自己存在感の感受・共感的人間関係の育成・自己決定の場の提供・安全安心な風土の醸成)
- いじめや不登校の未然防止
- 危機管理意識の向上
- 人材育成と業務改善
- 明るく風通しの良い職員室づくり
- 情報発信による開かれた学校づくり



- 育友会・家庭や地域との協働・連携
- 専門機関・関係機関・学校校種間との連携
- 児童が地域の良さを感じられるような学習活動や教師の働きかけの工夫
- 各家庭と連携し、健康的なメディアの利用
- 特色ある活動の継続と、保護者や地域への発信
- 地域人材の活用と児童の地域活動への参加
- 幼保小中の連携推進「願う子どもの姿＝板津人」の実現